



安心して巣立つことができる社会へ ～里親家庭、施設等で暮らす子どもたちの自立に向けて～

ますだ
栞田 ふみ さん

こんにちは。NPO法人おかえりの栞田と申します。私は、里親家庭^(※)や児童養護施設等(以下、施設等)を巣立った後の自立支援を目的に活動しています。

活動の契機となったのは、妹(里子、以下妹)との出会いからです。

私の両親は、「育ての親」として一定期間里子と暮らす「養育里親」をしています。

初めて迎えた妹が高校2年生になり、高校卒業後の進路や将来について家族で話し合う中で、高校を卒業し、施設等を巣立った後の具体的なアフターフォローや社会的な支援がないことを知りました。「私どうしたらいいの?」と泣き崩れている妹の姿を見たときに、「好きなことしい、何かあったら絶対助けるから」そう言える環境をつくりたいと思い、活動を始めました。

現在、里親家庭やファミリーホーム、児童養護施設等で暮らす子どもたちは全国で約34,000人とされています。児童福祉法では、それらの施設等での暮らしは原則18歳までとされており、高校卒業後には巣立っていかなければなりません。

施設等で暮らす子どもたちが安心して巣立っていけるように。そして、巣立った人たちが自立し、安心して暮らせるように。そのためにはどんなことが必要かと日々活動をする中で思うのは、やはり人と人のつながりだということです。困ったときに頼れる人や場

所、気兼ねなくいつでも立ち寄れる居場所(心の拠り所)が必要だと感じます。

自分らしく生きるということは、自分の人生を自分で選択するという事ではないでしょうか。心の拠り所がなければ、怖くて失敗することができません。失敗できないということはやりたいことに挑戦することができないということ。あの人に言えば大丈夫。あの場所へ行けば何とかなる。そんな顔の見える関係性を築きながら、「好きなことしい」と言える環境を整えていきたいと思っています。

※ 里親制度

家庭での養育が困難または受けられなくなった子ども等に、温かい家庭と正しい理解を持った家庭環境の下での養育を提供する制度

プロフィール

栞田 ふみ さん

NPO法人おかえり理事長

2003～2011年 幼稚園教諭、保育士として勤務

2007年 両親が養育里親として初めて里子を迎える。

2010年 NPO法人おかえり設立

2013年 日本福祉大学卒業、社会福祉士資格取得

2015年 奈良県委託事業 子どもの「自立」サポート事業を受託、「自立サポートセンター with」開設

2016年 精神保健福祉士資格取得

小規模住居型児童養育事業「ファミリーホームCheerful」開設